

書名 項目	<h1>新編 新しい数学</h1> <h2>～MATH CONNECT 数学のつながり～</h2>	2 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">東 書</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ・扱いやすい問題が多く、個人差にも対応できる構成になっている。            ・教科書に最後には学びのベース・補充の問題が充実しており、学習したことをすぐに復習することができる。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ・「深い学び」がほぼすべての章に設けられており、生徒が見方・考え方を働かせて数学的活動に取り組めるようになっている。            ・「章の問題B」では、全国学力調査に対応した問題が取り上げられている。「事柄や事実」、「方法や手順」、「理由」を説明する記述式問題がある。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ・章のとびらでは、生徒の関心・意欲を高める日常生活の場面をイラストと問いかけで提示している。            ・節の導入では、作業的な活動があり、生徒が意欲的に取り組めるようになっており、活動を振り返って生じた疑問が、本文の学習に繋がるようになっている。            ・「MATH CONNECT」として数学と職業について書かれているので、学習する必要性が見えてくる。         </p> <p> <b>&lt;数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>            ・章のとびらや節の導入では、日常生活や社会の問題を解決したり、数学の新しい性質を見出したりする活動を扱い、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようになっている。            ・全体的に知識・技能で学習してきたことを活用して、思考力・判断力・表現力をつけていく流れとなっている。         </p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターが身近な問題場面に直面して、対話しながら多様な考え方や気づきを促すように工夫されている。</li> </ul>	
表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しく出てきた用語に関し、読み仮名付きで太文字で記載されている。</li> <li>レイアウトに関してもわかりやすく記載されている。約3種類の色が使われており、見やすくなっている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭で「大切にしたい数学の学び」などの記載があり、生徒にとって自主的に学ぶための一助になっている。</li> <li>計算問題で誤答例から間違いを指摘し、再度計算させる方法は効果的である。</li> </ul>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">数学の世界</h1>	4 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">大日本</div>
内 容	<p> <b>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</b>            ・導入部分には、既習事項との関連を重視した「考えよう」が設けられている。            ・練習問題を補充する「プラス・ワン」、節末の「たしかめよう」、章末の「〇章をふり返ろう」、巻末の「補充問題」が設定してあり、問題数が確保されている。         </p> <p> <b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b>            ・問題を解く上での計算方法や証明の仕方など、多様な考え方を比較させている。どのような違いがあるのか、どちらの方がよいのかがわかりやすい。            ・「学びプラス」では既習事項を使い、考える視点を増やす工夫がされている。         </p> <p> <b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b>            ・「社会にリンク」として数学と職業について書かれているので、学習する必要性が見えてくる。数学と他教科とを関連付けた問題も複数ある。            ・各単元の最後には、「力をのばそう」、「活用・探求」として、その単元で学習した内容を活用して解く問題が設定されている。また、子どもたちの会話の中で解くための手順が示されており、道筋を立てて考えることができる。         </p> <p> <b>＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞</b>            ・「ノートづくり」では、生徒が常に学習を振り返ることができるノートの取り方が紹介されている。            ・「数学の世界へようこそ」では、解決の方法が身に付くよう問題発見から解決の流れが示されている。         </p>	
資 料	<p>           ・ノートの取り方やレポートの書き方の例などが載っており、生徒が比較的簡単にレポートなどを書くことができる。         </p>	
表記・ 表現	<p>           ・新出単語に関しては、読みがな付きの太文字で記載されており、他の文字よりも目立ってわかりやすくなっている。            ・計算などでは、ポイントになるところを太文字にしているので、解き方がわかりやすい。         </p>	
総 括	<p>           ・レイアウトがすっきりしており、見やすくまとめられている。            ・「発見！仕事のなかの数学」というページがあり、社会に出てどのように数学を活かされているのかがわかるようになっている。            ・巻末の補充問題が充実しており、対応ページも示されていて復習しやすい構成となっている。         </p>	

書名 項目	<h1>中学校 数学</h1>	1 1 学 図
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ・各単元の最初のページに「ふりかえり」があり、全学年で学習した内容のポイントが記載されている。            ・「計算力を高めよう」や「まとめの問題」が充実しているので知識・技能の定着が期待できる。            ・「正しいかな？」という誤答例もあり、子どもたちが気をつけながら取り組むことができる。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ・「章のまとめの問題」に、数学を活用して考えたり判断したりする「活用」を設定し、数学がいろいろな場面に活用できることを理解させるようにしている。            ・一時間の授業を通して、学習したことが「どんなことがわかったかな」に記載されており、本時のまとめの一部として活用することができる。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ・すべての章において、問題解決の見通しを立てて解決していく学習の流れを設定している。次の課題へのページ数を明記してある。            ・発展問題では、SDGs に関する題材を多く取り入れているので、一人一人の生徒が気になったところを自主的に学習できるようになっている。         </p> <p> <b>&lt;数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>            ・各単元の流れが統一されている。            ・算数・数学の学習過程のイメージをよく取り入れながら作られているので、子どもたちのつまずきを考えながら次のステップにレベルアップすることができる。         </p>	
資 料	・巻末にプログラミングソフト「スクラッチ」の説明が載っている。	
表記・ 表現	・単元ごとの構成がほぼ同じで、読みやすいレイアウトである。 ・重要語句なども太文字で読み仮名付きになっている。	
総 括	・すべての単元で、身近な場面から自ら疑問を発見し、主体的に学ぶように設定されている。 ・目標を設定し、子ども同士の活動を通して問題を解決していき、意欲を向上させることができるようになっている。 ・その授業の終わりには、どんなことがわかったのかを記載してあり、学びの連続性を確保できる。	

書名 項目	<h1>中学数学</h1>	17 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教 出</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の最初に復習のページがあり、既習事項を確認することができる。また、各章の最後には、「章のまとめ」という穴埋めの形で復習することができる。</li> <li>・「もどって確認」や「数学メモ」があり、公式など忘れてしまっても対応できるようになっている。</li> <li>・全国学力学習状況調査の問題も研究されており、簡単な問題から難しい問題まで配置されている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な問題場面で生徒に考えを働かせてほしい場面では、コンパスマークで生徒が主体的に考えられるようにしてある。</li> <li>・「学習過程で生じる問い→学習でわかったこと、解決のしかた→新たな疑問」のサイクルで問題を発見、解決できるようになっている。</li> <li>・各単元の最後には、力を伸ばそうというページもあり、既習内容を使ってどのように解けばよいのかを考えることができる。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の有用性を実感させるもの、自己の成長を感じさせるもの、社会で活躍している方へのインタビュー等、「章のとびら」から学習内容を関連付けるページが設けてある。</li> </ul> <p><b>&lt;数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ESD・SDGs」、「防災・安全」、「人権・多様性」、「伝統・文化」に関わる題材を取り上げてある。</li> <li>・「みんなで数学をはじめよう！」や「学びのプロセスページ」で問題発見・解決の過程を示すことで主体的・対話的な学び方が意識できるように工夫されている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターによって、対話しながら多様な考え方や気づきを促すように工夫されている。</li> </ul>	
表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章表現は簡潔で、図や表、写真、キャラクターなどを用いて理解しやすくしている。</li> <li>・記号化のよさを体得させ、記号化する態度を養うようにしている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題全体を通じて、わかりやすい問題から難易度が高い問題へと移行している。</li> <li>・教科書のはじめには、「大切にしたい数学的な見方・考え方」や「みんなで数学をはじめよう！」のページがあり、数学についてどのように学んでいけばよいかを示されていてわかりやすい。</li> </ul>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">未来へひろがる数学</h1>	6 1 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">啓林館</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ・問題の量が多く、定着が図りやすい。誤答例などもあり、自分で間違いに気づくことができる。            ・練習問題、章末問題などが多くあり、基本を学習した後に既習内容を使って問題を解くことができるようになっている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ・教科書のはじめに、「表現する力を身につけよう」、「問題を発見し解決して、さらに深める力を身につけよう」などのページがあり、学習したことを活用して問題を解くことができる。            ・「学びをたしかなものにしよう」もあり、各単元の終わりに章末問題もあるので、理解したことを確認しやすい。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ・「数学のとびら」が節ごとにあるので、主体的に学びに向かうことができる。            ・章末問題「学びをたしかめよう」にチェック欄があり、できるようになったこと、さらに学んでみたいことをまとめる場面を設けて、生徒が主体的に取り組めるようになっている。         </p> <p> <b>&lt;数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>            ・ステップ方式の課題では、数学を使って問題解決したあとに、その結果を振り返ったり、発展的に考えたりする場面が設けられている。            ・「数学ライブラリー」は、数学が関係している身のまわりの題材を取り上げている。         </p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所々に図や絵が多く取り入れられており、視覚的にも理解しやすい。</li> <li>・キャラクターの会話を通して考えさせる問題が多くあり、生徒が主体的に学べるようになっている。</li> </ul>	
表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語は太文字で読み仮名付きである。</li> <li>・レイアウトも見やすくなっており、子どもたちの興味関心をひくことができる。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端的に教え、次々に問題を解かせ、力をつけさせることのできる構成である。</li> <li>・計算問題では小数の問題や分数の問題が多数あり、計算技能を高めることができる。</li> </ul>	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">これからの 数学</h1>	104 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">数 研</div>
内 容	<p> <b>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</b>            ・各章の最初に振り返りのページがあり、既習事項を確認できる。            ・めあてとまとめが書いてあり、学習の流れが分かりやすい。            ・問題数が多く、繰り返し練習することができ、基礎基本の定着が期待できる。            ・巻末に1年のまとめのページで公式集が用意されていて、注意点などを確認することができる。         </p> <p> <b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b>            ・生徒キャラクターの対話を通して、数学的な見方や考え方が自然と身につく形になっている。            ・問題解決型の学習を前提として構成されており、思考力・判断力・表現力を適切に養うことができる。            ・「入試問題にチャレンジ」も掲載されているので、数学が得意な子どもたちは挑戦することもできる。         </p> <p> <b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b>            ・本単元で学習してきたことを使って考える場面の設定がある。「見つけてみよう」では、身近なものを例にしており、学びに向かう力を育成している。            ・「学んだことを活用しよう」では、生徒にとって身近な問題が豊富に用意されている。            ・「数学旅行」では、数学と関連する職業に触れている。         </p> <p> <b>＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞</b>            ・新たな学習内容のきっかけとなる数学的活動、めあて、学習内容の理解、練習、まとめ、学びのふりかえり、という構成になっている。            ・教科書の最初に「学習の進め方」のページがあり、数学的な見方・考え方を身につけるための方法も書かれている。         </p>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考える場面には必ず図があり、必要であれば活用することもできる。</li> <li>・色をふんだんに使っており、間違いやすいところに注意して取り組むことができる。</li> </ul>	
表記・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語句は太文字で読み仮名がふられており、わかりやすくなっている。</li> <li>・問題文はわかりやすい表現になっており、どのような子どもたちでも取り組むことができる。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものつまずきを減らすような構成になっている。</li> <li>・章の最初に振り返りのページがあり、既習事項の確認がしやすく、巻末のまとめの公式集があるので、復習がしやすい。</li> <li>・系統性を持った教材作成がされており、1年生で学習した内容もその単元のはじめで振り返ることができるようになっている。</li> <li>・補充の問題や確認問題、問題A、問題Bなどもあり、繰り返し学習を行うことができる。</li> </ul>	

書名 項目	<h1>中学数学</h1>	1 1 6 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">日 文</div>
内 容	<p> <b>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</b>            ・章の最初に復習のページがあり、既習事項を確認することができる。            ・その单元ごとの「めあて」が記載されており、学習の目標が明確化されている。            ・誤答例があり、自分がどこでつまづいているのかを確認することができる。         </p> <p> <b>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</b>            ・キャラクターによる会話を読み、考えながら思考力・判断力・表現力を身につけることができる。            ・各単元の終わりに「基本の問題」、「○章の問題」、「とりくんでみよう」などがあるので、学習した知識を活用して問題を解くことができる。            ・ふり返しシート、対話シートがあり、協働学習をすることができる。         </p> <p> <b>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</b>            ・「学びに向かう力を育てよう」では、誤答例からどのようなことが間違っているか、どのように正しく計算していけばよいか分かるようになっている。            ・「数学のたんけん」というページがあり、学んだことを実生活に活かすことができる。         </p> <p> <b>＜数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫＞</b>            ・「数学の学習を始めよう！」というページがあり、数学的な活動を通してどのように学習していくのかが記載されており、学び方のポイント等がわかりやすい。            ・「数学的な見方・考え方を身につけよう！」では、数学的な見方や考え方を働かせながら、数学を学習する上での重要な学習方法が記載されている。         </p>	
資 料	・付録として正多面体の展開図がついている。	
表記・ 表現	・新出語句は太文字でひらがな付きになっており、わかりやすい。 ・イラストや吹き出しなどを効果的に用いている。	
総 括	・全体的に学びの系統性を意識した構成になっている。 ・身近なことからを数学の問題として取り扱い、問題、解決、振り返りという過程を大切にしている。 ・問題の量も多く、子どもたちの出来具合を考慮しながら進めることができる。	